

# 人道と開発と平和の連携

- ◆ 難民・国内避難民は増加の一途であり、人道危機は長期化および深刻化。世界の紛争は長期化する傾向。
- ◆ 人道危機への対処として「人道と開発の連携」は有効に機能。しかし、紛争の発生・再発予防の視点が不十分。
- ◆ 人道支援と開発協力を、平和構築・紛争予防支援を組み合わせることにより、紛争発生後の対応のみならず、紛争の発生・再発予防にも重点。これを達成するため、平時からの国づくり、社会安定化といった、**紛争の根本原因への対処を抜本的に強化**。  
⇒ 国連事務総長が重視する「予防の概念を含む平和の持続」に我が国として貢献。

## 紛争による人道危機が発生している国・地域

## 人道危機の潜在的リスクがある国・地域

### 「人道支援」と「開発協力」の連携

- 人道危機発生初期段階から、①と②を相互に連携させて実施。
  - ①緊急フェーズの人道支援（食料、水・衛生等）
  - ②開発協力
    - (a) 難民の自立支援（教育、職業訓練等） →
      - ・将来的に難民の帰還や現地定住に貢献
      - ・人道支援コストの中長期的な軽減にも貢献
    - (b) 難民と受入れコミュニティの双方が必要とする基礎インフラの整備（水供給、保健医療施設、道路、橋梁等） →
      - ・難民の避難の長期化の現状に対応
      - ・難民と受入れコミュニティの平和的共存と安定化にも貢献

・人道危機発生後の対処が主。  
・紛争再発予防、平和構築の視点が不十分。

難民・国内避難民の帰還に合わせ継ぎ目なく展開

### 「平和構築・紛争再発予防」支援の展開

### 「紛争予防」支援の展開

\* アジアでの平和構築の経験を反映

- 平和構築支援（DDR支援、基礎インフラ（社会基盤）復旧、地雷不発弾除去、小型武器回収、平和構築人材育成等）
- 紛争再発予防支援（法制度整備、選挙及び公共安全分野等のガバナンス支援、社会的弱者支援）

- 紛争予防支援（法制度整備、選挙及び公共安全分野等のガバナンス支援、社会的弱者支援）

## 貧困削減・経済開発に資する開発協力の実施

「平和の持続」への貢献 ⇒ SDGsの達成にも貢献